

公益社団法人日本アメリカンフットボール協会
2020年度事業計画

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)は日本アメリカンフットボール協会(JAFA)にとって公益社団法人としての第8期となる。協会運営体制を整備し、定款・規則・規程に則った協会運営を進めて行く。

1) 日本スポーツ協会公認指導者養成事業

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、公益財団法人日本スポーツ協会(JSPO)が主催する公認スポーツ指導者養成事業の一つとして、日本スポーツ協会からの委託に基づいてアメリカンフットボール競技に関する公認コーチ資格の専門科目講習会を開催する。

公認指導者養成講座の専門科目のためのテキストとして、一昨年度は「ショルダータックリング」と「ヘッズアップ・ブロッキング」を発行し、昨年度は「ドリルブック(1)」、「ドリルブック(2)」発行した。今年度は「からだづくりハンドブック」を発行し、指導者向けのテキストを充実して行く。

更新時期を迎える公認コーチ資格保有者に対する特別講習を計画的に開催するとともに、資格保有者に対して特別講習の受講を促す。

2) コーチクリニック、フットボール教室

定款第5条第1項第1号に関連する事業として、コーチクリニック、フットボール教室を開催する。

重大事故の未然防止等、選手の安全を守る観点から、ユースならびに高校生、あるいは大学入学後に初めてフットボールを始める選手たちを対象にした研修を行う。

公認指導者養成講座専門課程のテキストである「ショルダータックリング」ならびに「ヘッズアップ・ブロッキング」を活用した研修や、JAFAが監修、発行する「からだづくりハンドブック」を活用し、からだづくりプログラムも並行して進めていく。

加盟団体からの要請に基づき「JAFA フットボールアカデミーキャンプ」を実施する。開催予定は以下のとおりである。

- ・2020年5月：フレッシュマンクリニック(関西学生連盟)
- ・2020年5月：ヘッズアップアカデミー(東北学生連盟)
- ・2020年6月：ヘッズアップアカデミー(関東学生連盟)
- ・2020年6月：ヘッズアップアカデミー(北海道学生連盟)
- ・2021年3月：ヘッズアップアカデミー(北陸学生連盟)
- ・2021年3月：ヘッズアップアカデミー(東海学生連盟)
- ・2021年3月：ヘッズアップアカデミー(九州学生連盟)
- ・2021年3月：ヘッズアップアカデミー(中四国学生連盟)

また、ガバナンス強化の一環として、JAF A が監修、発行する「(仮) フェアプレイハンドブック」を活用し、フェアプレイ講習会を加盟団体登録指導者向けに開催する。

※「JAF A フットボールアカデミー」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

3) 川崎市のまちづくり推進とアメリカンフットボールの普及活動

定款第5条第1項第1号及び第11号に関連する事業として、2006年に締結した川崎市との協定に基づき、川崎市のまちづくり推進連絡協議会に参加し、アメリカンフットボールを活用した川崎市のまちづくりと、川崎市におけるアメリカンフットボールの普及発展に努める。

川崎富士見公園内に川崎市が2年の歳月をかけて建設してきた「富士通スタジアム川崎(旧川崎富士見球技場)」の観客席が2015年3月に完成し、同4月からアメリカンフットボール準専用スタジアムとして運用開始された。アメリカンフットボール関連競技団体及び指定管理者との協力体制のもと、富士通スタジアム川崎で開催するアメリカンフットボールの試合に多くの観客を集めるとともに、川崎市商工会議所や川崎駅広域商店街連合会の協力を得て、アメリカンフットボール(フラッグフットボール含む)の市民スポーツとしての定着を図る。

※川崎市民にアメリカンフットボールを知ってもらうための普及・PR活動は川崎市からの助成を受けて実施します。

4) 大規模災害復興支援に関する事業

定款第5条第1項第1号、第12号に関連する事業として、大規模災害が発生した地域に対して、アメリカンフットボールを通じた復興支援事業を加盟団体と連携して行う。

5) アメリカンフットボール日本選手権「ライスボウル」の開催

定款第5条第1項3号に関連する事業として、アメリカンフットボール日本選手権「第74回ライスボウル」を主催する。アメリカンフットボールファンのみならず、競技で随一の知名度を誇るボウルゲームとして、今後とも多くのお客様に楽しんでもらえる日本選手権として定着させていく。

また、フラッグフットボール日本選手権、および地区大会を主催する

6) 高校生連盟・中学生連盟の主催試合等に対する後援ならびに助成

定款第5条第1項第3号に関連する事業として、高校生連盟や中学生連盟が主催する試合(日本選手権、選抜チーム対抗戦など)を後援する。

高校生連盟に対しては、2019年度に引き続きクリスマスボウル(全国高等学校アメリカンフットボール選手権)と、ニューイヤーボウル(関西高校連盟選抜・関東地区選抜対抗戦)を後援、

助成を行う。中学生連盟に対しては、情報共有を図りながら、幅広く活動を支援する。

7) 国際試合の主催・後援

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、以下の国際試合を後援する。

・第10回 TOMODACHI BOWL

対戦：米軍基地内ハイスクール代表チーム vs U-19 日本選抜チーム（関東主体）

主催：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

主管：一般社団法人関東学生アメリカンフットボール連盟

後援：公益社団法人日本アメリカンフットボール協会

日程：2021年3月

会場：未定

8) 国際試合へのチーム派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAF等が主催する国際試合に日本代表チームを派遣する。

・第4回アメリカンフットボール大学世界選手権（FISU主催）

日程：2020年6月2日～16日

会場：ハンガリー セーケシュフェーヘルヴァール

※「国際試合へのチーム派遣」は日本スポーツ振興センターの基金助成を受けて実施します。

9) 国際競技力向上に向けた取り組み

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、各世代の有力選手を集め、技術力向上を目指しクリニックを開催する。その中から、それぞれの世代で日本代表候補選手を選出し、国際大会へ向けたチーム作りに取り組む。

① インターナショナルボウル2021（世代：18歳以下）

2021年1月にアメリカ合衆国テキサス州で開催されるインターナショナルボウルに、高校3年生を主体としたU-18日本選抜チームを派遣し、アメリカの熟練コーチの指導による強化キャンプを経て、同年代のアメリカ選抜チームと試合を行う。アメリカチームとの試合を体験させることにより国際競技力の向上を図るものである。

また、強化キャンプ及びインターナショナルボウルには通訳コーチに加えて高校指導者を派遣しアメリカの熟練コーチから指導方法を習得する機会とする。

- ・2020年7月24日（金）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）
- ・2020年7月27日（月）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2020年11月28日（土）：インターナショナルボウル キャンプ（関西地区）
- ・2020年11月29日（日）：インターナショナルボウル キャンプ（関東地区）

- ・2021年1月中旬：アメリカ遠征

5日間の強化キャンプの後、インターナショナルボウルに出場してアメリカ選抜と試合する。

② FISU 主催大学世界選手権2020に向けた選手選抜（世代：大学生）

2020年6月に開催されるFISU主催世界大学選手権に派遣する大学日本代表チームのトライアウトを行い選手を選抜する。選手の選抜指導は、日本代表チーム編成委員会が推薦しJAFAL 理事会が選任した大学日本代表チーム監督ならびにコーチングスタッフが中心になって行う。

- ・2020年4月4・5日（土・日）：大学日本代表トライアウト（関東地区）
- ・2020年4月11・12日（土・日）：大学日本代表トライアウト（関西地区）
- ・2020年5月23・24日（土・日）：大学日本代表強化練習（関東地区）

※「国際競技力向上に向けた取り組み」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

※事業計画承認後、2020年3月25日付、コロナウイルスの影響で大会が中止となりました。

10) 国際試合への審判員の派遣

定款第5条第1項第4号に関連する事業として、IFAFが主催する国際試合に審判員を派遣する。2020年度は、国際試合において主催者の要請に伴う審判員派遣の予定はない。

11) 競技規則の制定・告知・頒布

定款第5条第1項第5号に関連する事業として、競技規則委員会（2020年3月開催）の決定に基づき、アメリカンフットボール競技の2020年度公式規則について、2019年度公式規則からの変更について加盟団体に周知するとともに、2020年度版公式規則書を発行する。

12) 医科学研究会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、フットボールシーズン終了後（2021年2月）に医科学研究会を開催する。アメリカンフットボールに密接に関連する医科学分野の医師、トレーナー、指導者が一堂に会して、当該年度に発生した重大事故、医科学分野における新たな知見等の情報を持ち寄って、選手の安全確保のための情報共有、意見交換を行う。また、加盟競技統括団体の所属チームに外傷報告書を提出してもらい、安全対策委員会においてデータを集計し、得られた知見については医科学研究会で報告する。

13) ドーピング検査

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、(一財)日本スポーツフェアネス機構の指定により三大ボウルゲーム(甲子園ボウル、ジャパンエックスボウル、ライスボウル)においてドーピング検査を実施する。ドーピング検査は、専門機関である日本アンチ・ドーピング機構が行う。

※「ドーピング検査」は日本スポーツ振興センターのくじ助成を受けて実施します。

14) アンチ・ドーピング講習会

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、アンチ・ドーピング講習会を開催する。多くの指導者、選手はアンチ・ドーピングの主旨は理解しているものの、禁止薬物に関する知識、持病等で処方を受けている薬物の事前申請(TUE)、居場所情報提出などの手続きなどについて十分な知識を有しているとは言い難く、啓蒙活動の一環として、2020年10月～11月にかけて関東、関西の2会場でアンチ・ドーピング講習会を開催する。

15) 受講者推薦(日本スポーツ協会公認スポーツドクター及びアスレティックトレーナー養成講座)

定款第5条第1項第6号に関連する事業として、日本スポーツ協会が主催するスポーツドクター養成講座、及びアスレティックトレーナー養成講座の受講生を推薦する。安全対策委員会、医科学部会が、受講希望者の中から日本スポーツ協会の受講者選考基準に適合するものを選考して推薦する。

16) アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進

定款第5条第1項第7号に関連する事業として、あらゆる機会をとらえて、国、地方自治体その他の競技場または競技場用地所有者に対して、アメリカンフットボールに適した競技場の設置促進を働き掛ける。

17) NCAA公式規則変更に関する会議等への競技規則委員派遣・参加

定款第5条第1項第8号に関連する事業として、全米大学体育協会(NCAA: National Collegiate Athletic Association)の公式規則変更、公式規則適用の状況を正確にかつ迅速に把握するために、米国CFO(College Football Officiating LLC)が主催するフットボール・コーディネーター・ミーティングに競技規則委員を派遣する。

・派遣時期 フットボール・コーディネーター・ミーティング: 2021年1月

また、上記に関連し今年度はナショナル・レフェリー・カンファレンス、及びナショナル・イ

